



令和3年8月20日 立川市広報課

送付文書 計1枚

報道機関 各位

立川市新型コロナワクチン接種について

市では、市民のワクチン接種を促進するために、8月13日から全対象者の接種予約とワクチン接種が可能といたしました。また、若い世代のワクチン接種を進めるために、

- 1 12～18歳の相談機会を確保した集団接種
- 2 立川駅近くの公共施設で平日の夜間接種を実施いたします。

また、

- 3 官民連携による立川市職域接種

として、モデルナ社製のワクチンを使って、立川市と多摩信用金庫本店、立川市医師会との3者連携による立川市職域接種を実施しており、7月12日から8月12日にかけて、多摩信用金庫本店と女性総合センター・アイムを会場において1回目の接種を行い、これまで4,406名が1回目の接種を終えました。

この間、7月18日に冷凍庫の不具合に伴い、386バイアルが解凍され、冷蔵保管によりワクチンの安定状態を保ち使用してまいりましたが、ワクチンの使用期限である30日間が経過したため、24バイアル（240回分）を8月17日に廃棄しました。

詳細は別紙のとおりです。

【問い合わせ】

立川市福祉保健部健康づくり担当課 担当：田村 信行

TEL 042-527-3272

立川市の新型コロナワクチン接種について

1 12～18歳の相談機会を確保した集団接種会場での接種実施

- 立川市では、12～18歳(2003～2009年生まれ)の方を対象に個別医療機関でワクチン接種を実施していますが、8月21日(土)と9月18日(土)に健康会館においてワクチン接種を行います。小児科医による相談の機会を確保し、安心して接種できるよう、会場内には本人と保護者からの不安や質問にお応えできる体制を整えています。定員は各日600名程度。

2 立川駅近くの公共施設で平日の夜間接種を実施

- 立川市では、若者世代や通勤帰りの方へのワクチン接種の機会を増やすため、8月23日(月)から9月15日(水)までの(その後の日程は調整中)平日の夜間(18時30分～21時)に、JR立川駅北口から歩行者デッキでつながる女性総合センター・アイム(徒歩7分)において、集団接種を開始します。市民を対象に定員は各日250名。

3 官民連携による立川市職域接種の状況とワクチンの廃棄について

- 立川市と多摩信用金庫本店、立川市医師会との3者連携による立川市職域接種については、7月12日から8月12日にかけて、多摩信用金庫本店と女性総合センター・アイムを会場に1回目の接種を行い、これまで4,406名が1回目の接種を終えました。

対象は、市内の保育園や幼稚園、介護事業所などに従事するエッセンシャルワーカーをはじめ、市職員、市内の公立小中学校や私立教育関連等の教職員、立川商工会議所会員などで、このうち市内在住者は999名、市内在勤者は3,407名となっています。

2回目の接種は、8月16日から開始し9月11日にかけて実施します。

- 職域接種ではモデルナ社製ワクチンを使用し、立川市には1,150バイアル(1バイアル10回分)のワクチンが納品されています。このうち、7月18日に冷凍庫の不具合に伴い、386バイアルが解凍し、以後、冷蔵保管によりワクチンの安定状態を保ち使用してきましたが、ワクチンの使用期限である30日間が経過したため、24バイアル(240回分)を8月17日に廃棄しました。モデルナ社製ワクチンの必要な量は確保していますので、今後の接種に影響はありません。ワクチン保管には別の冷凍庫を使用するとともに、保冷剤を入れて保管するなど、再発防止の徹底を行っています。